

お客様各位

=====

BlueBrickEX NS-3510 Ver1.6.2 バージョンアップ手順

=====

エスアイアイ・ネットワーク・システムズ株式会社

本資料は、イーサネットアクセスデバイス BlueBrickEX 「NS-3510-10」（以後、本装置と略記します）のシステムソフトウェアのバージョンアップ方法について記載しています。
システムソフトウェアの修正履歴は、別途 Release Notes をご参照ください。

なお、バージョンアップの手順は「NS-3510 取扱説明書」にも記載しております。
また、「NS-3510 取扱説明書」には、システムソフトウェアのバックアップ方法についての項目もございますので、合わせてご覧になった後でバージョンアップを実施してください。

◇ 「NS-3510 取扱説明書」 システムソフトウェア バージョンアップ関連項目

4 章 管理と保守

4.3 システムソフトウェアの管理

- 4.3.1 システムソフトウェアの切り替え
- 4.3.2 システムソフトウェアのバージョンアップ
- 4.3.3 システムソフトウェアのコピー
- 4.3.4 システムソフトウェアのバックアップ
- 4.3.5 システムソフトウェアのリストア(復旧)

バージョンアップに関する不明点は、下記のお問い合わせ窓口へご相談ください。

【 お問い合わせ窓口 】

エスアイアイ・ネットワーク・システムズ株式会社
ネットワーク推進課
TEL: 043-211-1318 FAX: 043-211-8060

=====

バージョンアップ対象システムソフトウェア

=====

このシステムソフトウェアのバージョンアップファイルは、下記のシステムソフトウェアを対象としております。

対象システムソフトウェア： Version 1.2.0 以降の全てのバージョン

バージョンアップ方法について

バージョンアップ作業をはじめるにあたって、以下の点にご留意ください。

- ・ NS-3510 のバージョンアップは FTP プロトコルを利用して行います。
作業を開始する前に、FTP クライアントが動作する端末を準備してください。
- ・ バージョンアップ作業には特権ユーザーの権限が必要です。

(1) バージョンアップファイルの確認

圧縮ファイル(3510v162.zip)を解凍すると、下記の4ファイルが展開されます。システムバージョンアップファイルとチェックサム用ファイルのサイズをご確認ください。

NS3510-Readme-V162. pdf	--	本ファイル
NS3510-Release-V162. pdf	--	リリースノート
system. 3510	--	NS-3510 システムバージョンアップファイル (差分)
md5sum	--	system. 3510 ファイルのチェックサム用ファイル

system. 3510 のファイルサイズ :	5, 796, 898 バイト
md5sum のファイルサイズ :	41 バイト

(2) FTP サーバの起動

下記の手順で FTP サーバを起動し、工場出荷時に設定されているバージョンアップ専用ユーザー「verup」に対してパスワードを設定します。この操作はコンフィグモードで行います。もし、ユーザー名を変更されている場合は、user-id が 199 のユーザーに対して、下記の操作を行ってください。(ユーザー名は、show user コマンドで確認できます)

```
NS-3510# configure ↓  
NS-3510(conf)# create allowhost all service ftpd ↓  
NS-3510(conf)# enable ftpd ↓  
NS-3510(conf)# set user verup password ↓  
Enter new password: _____ ↓  
Re-enter new password: _____ ↓
```

(3) システムソフトウェアの転送

バージョンアップファイル system.3510 および md5sum を本装置へ転送します。ファイルを保存したディレクトリから FTP クライアントを実行してください。FTP の転送モードは、必ずバイナリモードに切り替えてください。以下に、Windows での FTP ファイル転送実行例を記します。

注 意 :

ファイル転送中に本装置の電源 OFF や、RESET スイッチを押さないでください。システムソフトウェアが立ち上がらなくなることがあります。通信障害などで転送が失敗した場合には、そのまま再度、ファイル転送を実行してください。

```
C:\¥verup> ftp 192.168.1.1 (< NS-3510 のIPアドレス>) ↓
Connected to 192.168.1.1.
220 version up server ready.
```

```
Name (192.168.1.1:none): verup ↓
331 User name ok, need password.
Password: <(2) で登録したパスワード> ↓
230 User logged in.
```

(ファイル転送をバイナリモードに設定します)

```
ftp> binary ↓
200 Type set to I.
```

```
ftp> hash ↓
Hash mark printing on (2048 bytes/hash mark).
```

(バージョンアップファイル system.3510 を転送します)

```
ftp> put system.3510 system ↓
200 PORT command ok.
150 Opening BINARY mode data connection for system
#####
. . .
#####
226 Binary Transfer complete.
226 Transfer complete.
ftp: 5796898 bytes sent in 0.50Seconds 11563.72Kbytes/sec.
```

(チェックサムファイル md5sum を転送します)

```
ftp> put md5sum ↓
200 PORT command successful
150 Opening BINARY mode data connection for md5sum
226 Transfer complete.
ftp: 41 bytes sent in 0.00Seconds 41000.00Kbytes/sec.
```

```
ftp> quit ↓
C:\¥verup>
```

(4) バージョンアップファイルのチェック

バージョンアップファイルが正しく転送できたことを「verup check」コマンドで確認します。下記のコマンドでエラーが発生した場合は、システムソフトウェアのバージョンアップファイルとチェックサムファイルを再送し、もう一度、verup check コマンドを実行してください。なお、以降の作業は、すべてオペレーションモードで実行します。

```
NS-3510# verup check ↓  
This VersionUP archive is for during v1.2.0 and v1.6.2.  
check and extract successful
```

(5) バージョンアップの実行

「verup execute」コマンドを実行して、バージョンアップを行います。再起動を促す問い合わせが表示されますので「y」を入力します。

```
NS-3510# verup execute ↓  
Reboot system is necessary for this version up.  
May I reboot in version up process [y/n] ? y ↓
```

telnet でログインしている場合には、再起動するとコネクションが切断されます。システムソフトウェアが立ち上がるのを待ってから再度ログインしてください。

```
*****  
注 意：  
ファイルの置き換え中に電源 OFF や、RESET スイッチを押さないでください。システムソフトウェアが立ち上がらなくなることがあります。  
*****
```

(5) 確 認

本装置が起動したら、「show version」コマンドを実行して、バージョンが更新されていることを確認してください。

システムソフトウェアのバージョンがアップしていたら、本装置のエラーメッセージの有無を確認し、その後、通信やその他の機能が正常であることを確認してください。エラーメッセージの有無は、「show log console」コマンドで確認することができます。

```
NS-3510# show version ↓
```

～中略～

```
=====  
NS-3510 System Software 2012-12-02 (Ver 1.6.2)  
=====
```

以 上